

京都府の河川・砂防事業について

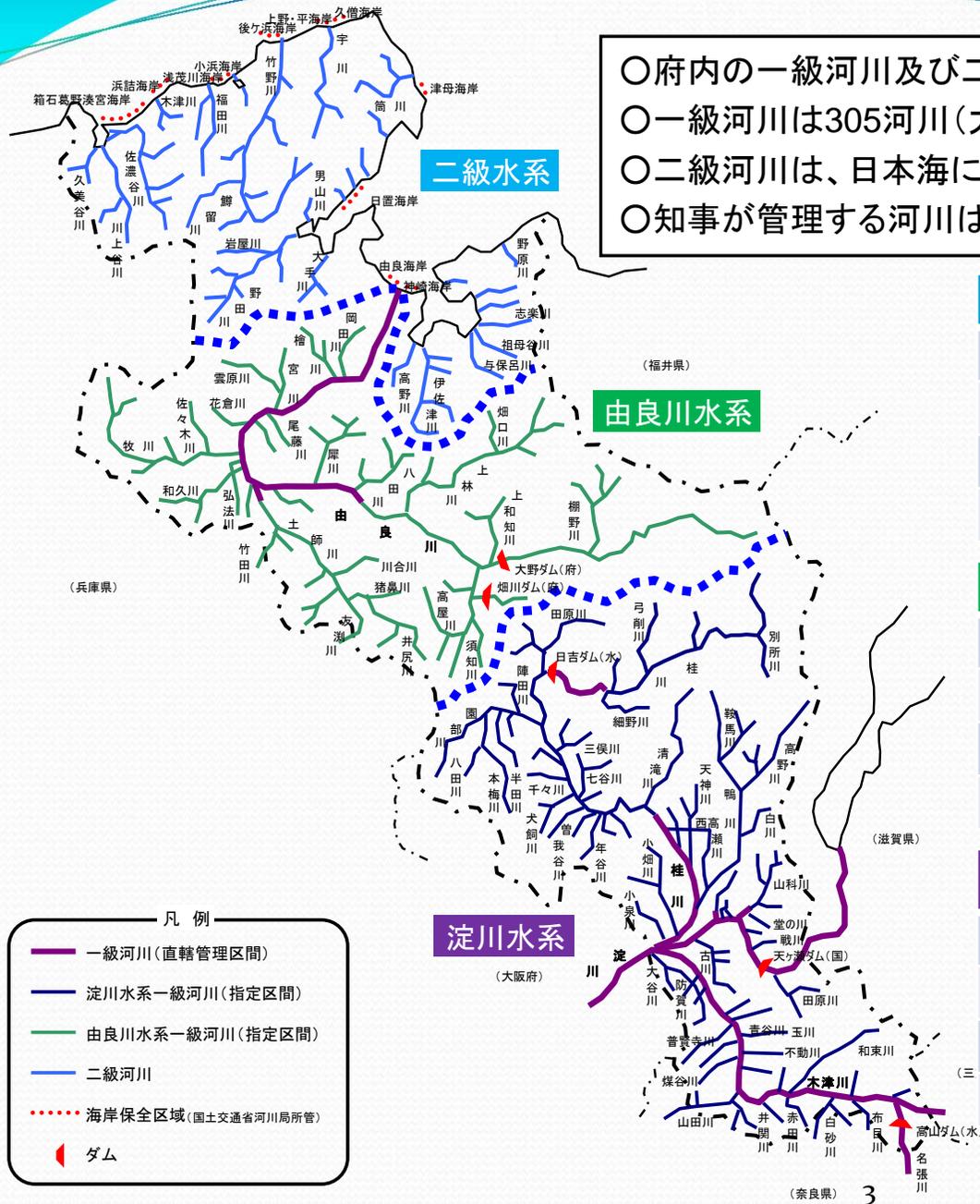
京都府建設交通部
平成29年5月31日

最近の水害の概要

- 京都府では、平成16年度から平成26年度までの概ね10年間で4度の大規模な水害が発生。
 ○4度の水害は雨の降り方や被害発生メカニズムなどが異なり、それぞれに特徴がある浸水被害が発生。

	平成16年台風23号 (10/20~21)	平成24年 京都府南部豪雨 (8/13~14、17~18)	平成25年 台風18号 (9/15~16)	平成26年 8月豪雨 (8/15~17)
雨量等	総雨量385mm(宮津市) 時間最大51mm(")	総雨量332mm(城陽市) 総雨量307mm(宇治市) 時間最大86mm(京田辺市、 精華町)	総雨量489mm(舞鶴市) ※府内51地点で300mm以上を記録 時間最大82mm(京丹後市)	総雨量358mm(綾部市) 総雨量346mm(福知山市) 時間最大62mm(福知山市)
被害状況	<ul style="list-style-type: none"> ・死者15名 ・全壊26、半壊328棟 一部損壊3,151棟 ・床上浸水2,726棟 ・床下浸水4,376棟 	<ul style="list-style-type: none"> ・死者2名 ・全壊32、半壊169棟 ・床上浸水906棟 ・床下浸水2,378棟 	<ul style="list-style-type: none"> ・重傷者3名、軽傷者3名・ 全壊4棟、半壊441棟、 一部損壊217棟 ・床上浸水1,482棟 ・床下浸水3,326棟 	<ul style="list-style-type: none"> ・死者2名、軽傷者1名 ・全壊14、半壊272棟 一部損壊17棟 ・床上浸水1,835棟 ・床下浸水2,716棟
浸水被害が発生した河川	<ul style="list-style-type: none"> ・大手川、野田川、竹野川、 福田川、高野川 ・宮川、牧川 他 9河川 	<ul style="list-style-type: none"> ・弥陀次郎川(天井川) ・古川、志津川 他 6河川 	<ul style="list-style-type: none"> ・直轄由良川、桂川 ・安祥寺川、四宮川 ・鴨川、桂川、園部川 ・高野川 他12河川 	<ul style="list-style-type: none"> ・弘法川、法川、榎原川、 大谷川、八田川
災害の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府北部を中心に記録的大雨 ・直轄由良川とその支川 ・二級河川で浸水被害 ・土砂災害多数発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府南部で局地的な集中豪雨 ・宇治市、城陽市などの府管理河川等で浸水被害 ・天井川決壊で甚大な被害 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府ほぼ全域で総雨量200mm超の大雨 ・直轄由良川、桂川とその支川で浸水被害 ・樋門閉鎖で内水被害 	<ul style="list-style-type: none"> ・由良川本川水位が高いときに、福知山市街地周辺で集中豪雨 ・支川溢水や下水道、ポンプの排水能力を超えた内水による大規模浸水

京都府の河川について



- 府内の一級河川及び二級河川は、合わせて**394河川**、延長約**2,046km**
- 一級河川は305河川(大阪湾に注ぐ淀川水系と日本海に注ぐ由良川水系)
- 二級河川は、日本海に注ぐ36水系89河川
- 知事が管理する河川は、**377河川**、延長約**1,852km**(全延長の90.5%)

二級水系		
	河川数	延長
大臣管理	—	—
知事管理	89	409km
計	89	409km

一級河川 由良川水系		
	河川数	延長
大臣管理	2	56km
知事管理	125	658km
計	125	714km

一級河川 淀川水系		
	河川数	延長
大臣管理	23	138km
知事管理	163	785km
計	180	923km

※河川数の合計が合わないのは、同一河川で大臣管理区間と知事管理区間があるため

京都府域における河川整備計画の策定状況

福田川水系 (H18.12.22策定) 竹野川水系 (H28.3.25策定)
 さのたにがわ 佐濃谷川水系 (検討中) 野田川水系 (H20.8.1策定)
 川上谷川水系 (H20.8.1策定) 大手川水系 (H13.6.5策定、H18.8.25策定(変更))

たかのがわ 高野川水系 (H29策定予定)

由良川水系・二級水系
河川整備計画検討委員会
(H17.11月～)

二級水系

府	89 河川
野田川、川上谷川等	

由良川上流圏域

府	41 河川
畑川等	
(H19.8.3策定)	

由良川下流圏域

府	84 河川
国	2 河川
宮川等	
(H24.4.17策定、H27.3.27変更)	

桂川上流圏域

府	56 河川
国	15 河川
桂川等	
(検討中)	

鴨川

府	10 河川
鴨川、高野川等	
(H22.1.15策定)	

木津川・桂川・宇治川圏域
河川整備計画検討委員会
(H22.3月～)

宇治川圏域

府	33 河川
国	6 河川
古川等	
(H26.3.25策定、H29.3.17変更)	

凡例

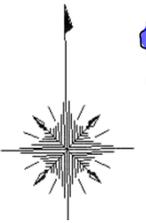
	国管理河川
	府管理河川
	策定作業中河川
	策定済み河川
	策定予定河川

桂川下流圏域

府	15 河川
国	1 河川
小泉川等	
(H24.4.17策定)	

木津川圏域

府	47 河川
国	2 河川
防賀川等	
(H24.5.18策定)	



弘法川、法川【福知山市】

京都府の河川整備（治水）

由良川沿川の福知山市では、平成26年8月豪雨に起因する内水により甚大な浸水被害が発生した。そこで、国、京都府、福知山市の3者が連携して浸水対策事業を実施することとし、府の事業としては、床上浸水対策特別緊急事業により、弘法川及び法川の河川改修・調節池・ポンプ施設等を整備し、家屋の床上浸水被害を概ね解消する。



国・府・市の実施内容

■国

- 【由良川床上浸水対策特別緊急事業】
- ・荒河排水機場増強 (+3m³/s)
 - ・弘法川排水機場新設 (9m³/s)
 - ・ポンプ車ピット+11m³/s
 - ・法川排水機場増強 (+15m³/s)

■京都府

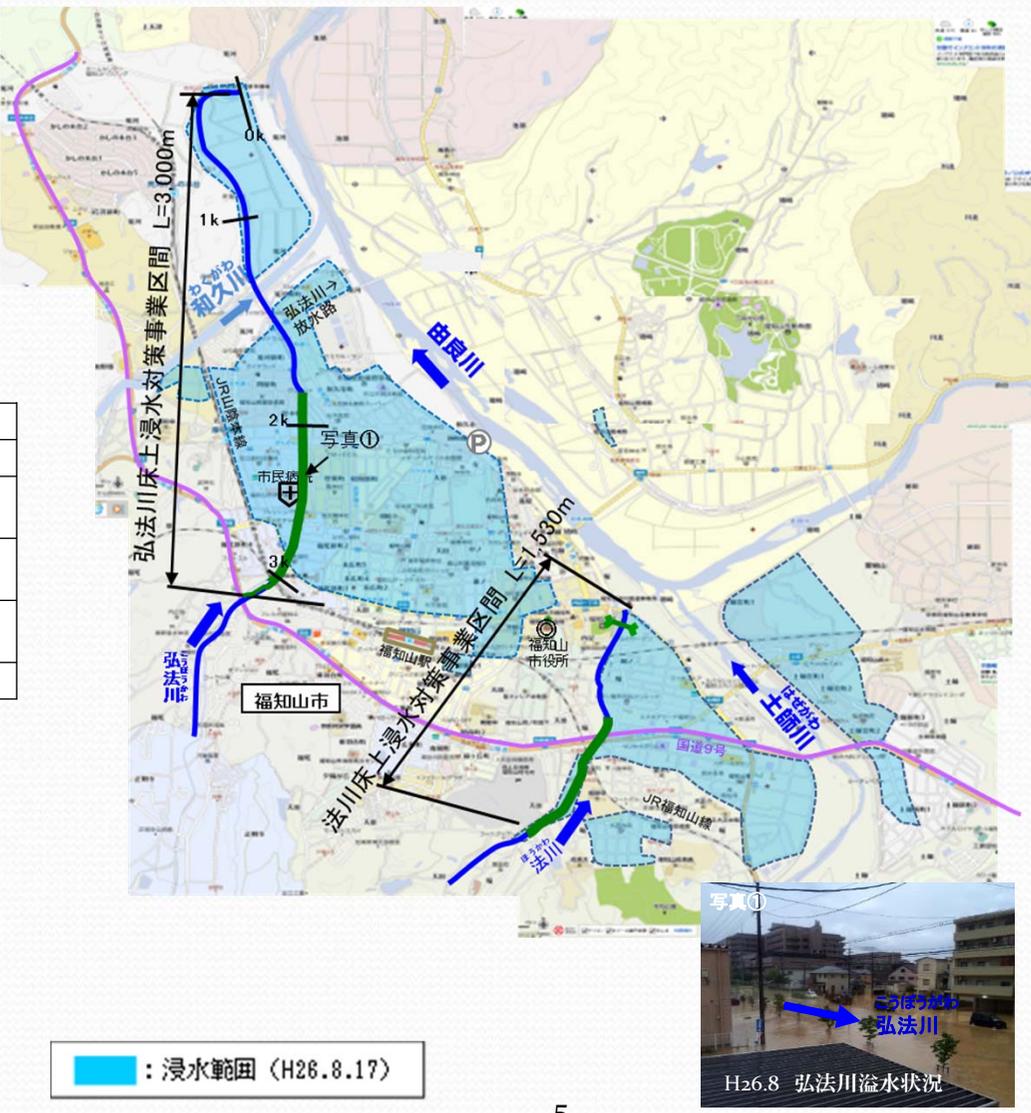
- 【弘法川・法川床上浸水対策特別事業】
- ・河川改修(弘法川・法川) 4.4km
 - ・調節池整備200千m³
 - ・ポンプ新設11m³/s

■福知山市

- [下水道]
- ・和久市ポンプ場増強 1m³/s
 - ・和久市ポンプ場耐水化1式
 - ・合流区域集水管増強1式
 - ・貯留施設等整備10千m³
- [その他]
- ・オンサイト貯留施設20千m³
 - ・調整池等整備210千m³

浸水被害状況

年月日	浸水戸数（戸）		
	床上	床下	計
H16.10.20 (台風23号)	15	5	20
H25.9.15 (台風18号)	4	5	9
H26.8.17 (前線豪雨)	1,586	1,712	3,298
計	1,605	1,722	3,327

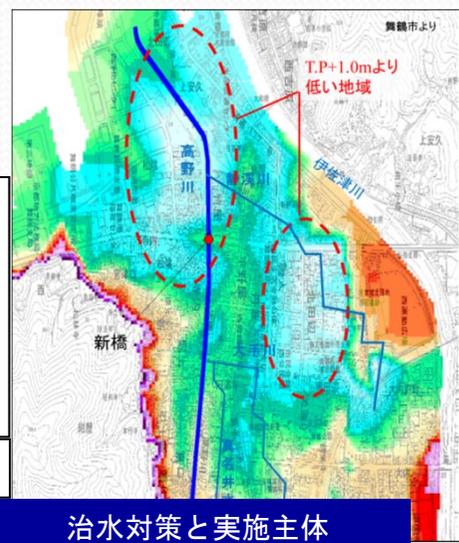


■ : 浸水範囲 (H26.8.17)

高野川【舞鶴市】

総合的な治水対策の推進

- 平成16年台風23号（時間最大雨量36mm、総雨量285.5mm）により床上156戸、床下642戸の浸水被害が発生した。
- 平成16年台風23号と同規模の出水から床上浸水被害の解消を図ることを目標とし、府は高野川の河川改修、市は高野川からの逆流防止対策と市街地の内水対策を実施することで府、市が連携し高野川における総合的な治水対策をとりまとめた。
- 当面の治水対策は、概ね15年間で実施することとし、効率的で効果的に整備を行うため、1期（事業化から概ね10年間）、2期（次の概ね5年間）に分けて実施する。



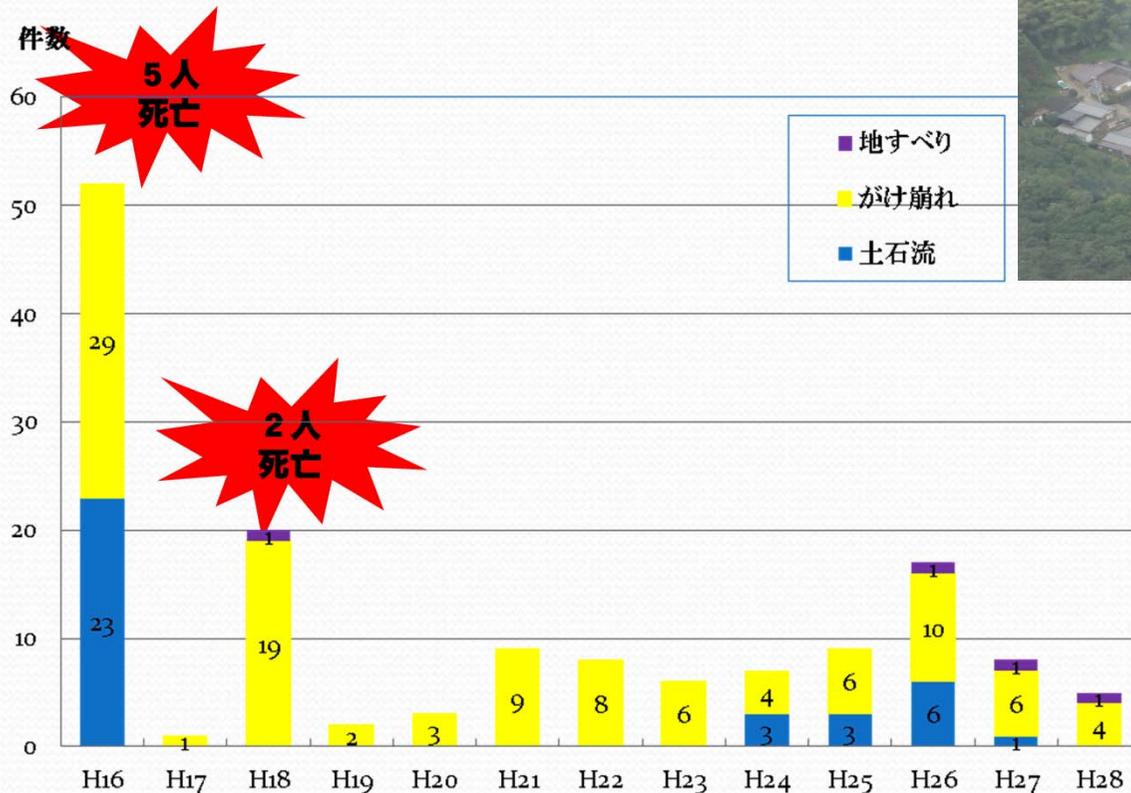
治水対策と実施主体

区分	新たに実施する対策	実施主体
ハード対策	洪水・高潮対策 ○高野川本川堤防からの越水対策 ・堤防のかさ上げ、河道掘削、護岸整備 L=約1.5km ○高野川及び支川等からの逆流防止対策 ・逆流防止施設設置、吐出口集約 約130箇所(可能な限り集約) ○高野川河口部の高潮対策 ・護岸等のかさ上げ L=0.1km ・静溪川合流点の臨港道路嵩上げ L=0.1km	京都府 舞鶴市 京都府
	内水対策 ○内水排除ポンプ設置 ・静溪川合流点 約5 m ³ /s ・竹屋排水路合流点 約0.4 m ³ /s ・大手川合流点 約6 m ³ /s ・折原水路合流点 約1 m ³ /s ○貯留施設の整備 2箇所、約12,300m ³ ○水路の整備 L=約2.3km	舞鶴市 舞鶴市 舞鶴市
ソフト対策	○宅地かさ上げなど建築物の耐水化 「舞鶴市宅地かさ上げ助成金制度」 ○各戸における貯留施設等の整備 「雨水貯留施設(マイクロ呑龍)補助制度」 ○開発に伴う調整池等の設置 ○内水(高潮)ハザードマップ作成等による避難警戒意識の啓発	住民・舞鶴市 住民・舞鶴市・京都府 開発者・舞鶴市・京都府 舞鶴市

最近の土砂災害の概要

～ 平成16年から28年まで ～

- 京都府では、台風や頻発する集中豪雨等により、毎年のように土砂災害が発生。
- 平成16年10月の台風23号では、土砂災害により **5人が死亡**。
- 平成18年7月の梅雨前線豪雨では、土砂災害により **2人が死亡**。



平成16年 宮津市滝馬地区 (上)
(下) 平成18年 京丹後市間人地区



総合的な土砂災害対策の推進

□府内の土砂災害危険箇所の内、**優先的に対策工事を進めていく箇所**（人家5戸以上又は重要な公共施設の保全）は**約3,700箇所**。

■土砂災害から府民の生命と財産を守るため、砂防えん堤などの防災施設の整備による**ハード対策**と併せて、雨量や危険箇所に関する情報の提供や住民の防災意識向上のための啓発活動などの**ソフト対策**を**総合的に推進**。

砂防関係施設の整備と管理 ～ ハード対策 ～

- ◆ 保全対策
 - ・要配慮者利用施設を保全する箇所
 - ・避難所等を保全する箇所
 - ・過去に災害を受けた箇所
 - ・重要交通網(緊急輸送路等)を保全する箇所
 - ・保全人家戸数の多い箇所等を優先的・重点的に整備
- ◆ 砂防関係施設の適切な維持管理

防災情報の提供と市町村連携 ～ ソフト対策 ～

- ◆ 土砂災害に関する情報の提供
- ◆ 土砂災害防止法に基づく区域指定
- ◆ 警戒避難に関する市町村との連携
- ◆ 府民の防災意識向上のための啓発活動

土砂災害危険箇所の整備状況 ～ 直近10年 ～

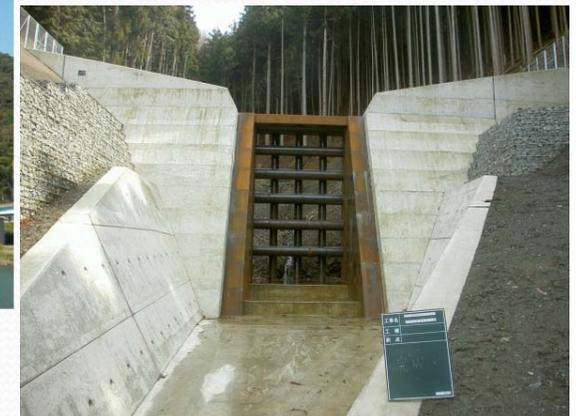
- 府内には、**8,847箇所**の土砂災害危険箇所が存在。
- この内、**3,725箇所**をランクⅠと分類して、優先的に対策工を実施。
- 平成28年度末までに**648箇所**の対策工が完了。（整備率：**17.4%**）



見行谷川:通常砂防事業(伊根町)



地頭:急傾斜地崩壊対策事業(舞鶴市)



中谷川:通常砂防事業(亀岡市)

水尾川:通常砂防事業(京都市)



久多:急傾斜地崩壊対策事業(京都市)



※ランクⅠは、保全家数が5戸以上または道路等公共施設、学校、病院等の他、要配慮者利用施設がある危険箇所
 ※急傾斜地の要対策箇所には、事業導入ができない人工斜面を除く

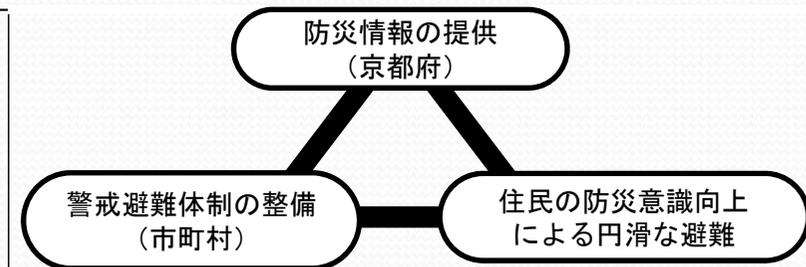
ソフト対策（洪水・土砂災害への備え）①

基本方針

- ◇ 洪水や土砂災害などから府民の生命と財産を守るため、河川・砂防事業等のハード対策と併せて雨量・水位等の防災情報を迅速かつ的確に提供している。
- ◇ 警戒避難体制を整備し、円滑な住民避難に繋げるためには、市町村等との連携や住民の防災意識向上が不可欠である。

現状と課題

- ◇ 京都府では、平成16年の台風23号による被害を受け、水位計等の観測機器の整備や防災情報の提供の充実を図ってきた。
- ◇ 気象台、国土交通省等からの防災情報を活用し、京都府と市町村が連携し、水防活動や住民の避難情報の提供など、府民の生命や財産を守ることに努めている。
- ◇ 京都府では、平成16年の台風23号による被害を受け、水位計等の観測機器の整備や、防災情報の提供の充実を図ってきた。
- ◇ 気象台、国土交通省等からの防災情報を活用し、京都府と市町村が連携し、水防活動や住民の避難情報の提供など、府民の生命や財産を守ることに努めている。
- ◇ 平成24年南部豪雨・平成25年台風18号・平成26年8月豪雨など3年連続して被害を受けておりさらなる警戒避難体制の強化が必要であり、防災情報の充実が求められている。



ソフト対策(洪水・土砂災害への備え)②

主要事業の概要(1)

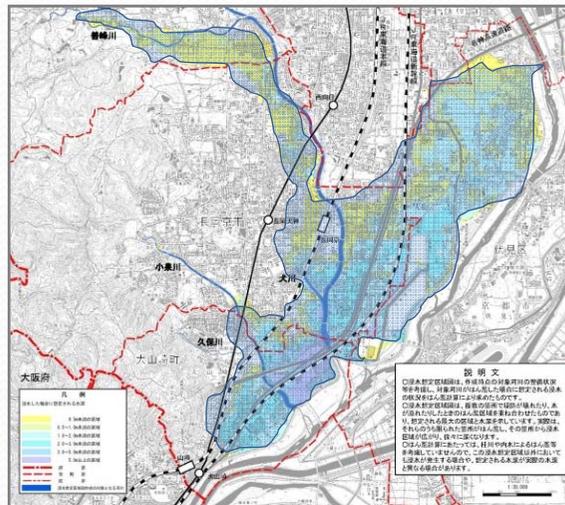
■洪水・土砂災害に関するリスク情報の整備、公表

洪水

現在125河川で洪水浸水想定区域図を作成・公表している。
今後、平成27年水防法改正や「災害からの安全な京都づくり条例」(H28.8公布)に基づき洪水浸水想定区域図の見直し又は新規作成を行う。

土砂災害

土砂災害防止法に基づき約17,000箇所の基礎調査結果を公表している。
土砂災害警戒区域等は平成28年度末までに約16,400箇所を指定している。
残り約600箇所の土砂災害警戒区域等の指定を進める。



浸水想定区域図



土砂災害警戒区域、特別警戒区域

ソフト対策(洪水・土砂災害への備え)③

主要事業の概要(2)

■リアルタイム情報の提供

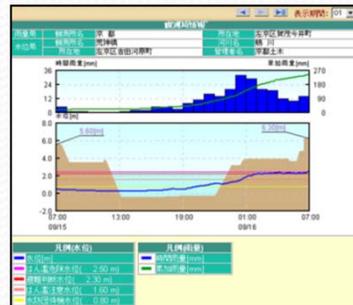
- ◇ 市町村の水防活動や避難勧告等の発令、住民の自主避難の判断等に活用していただくことを目的に雨量・水位・河川防災カメラ画像及び土砂災害警戒情報(土砂災害危険度情報)などをインターネット、地上デジタルデータ放送などさまざまなメディアにより、リアルタイムで提供している。
- ◇ 土砂災害警戒情報の精度向上、洪水に対する雨量による避難判断基準の検討などを実施。

雨量情報



京都府 108箇所
 国土交通省 21箇所
 水資源機構 8箇所
 気象庁 17箇所
 京都市 38箇所

水位情報



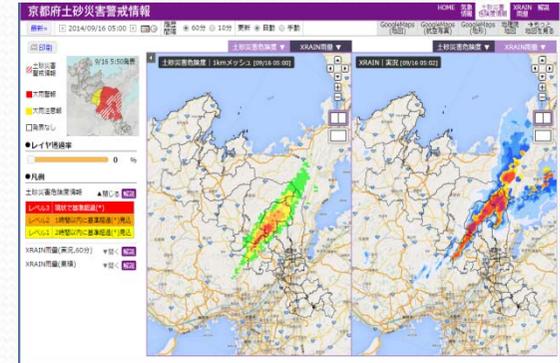
京都府 110箇所
 国土交通省 31箇所
 水資源機構 6箇所

河川防災カメラ画像



京都府 70箇所

土砂災害警戒情報



ソフト対策(洪水・土砂災害への備え)④

主要事業の概要(3)

■警戒避難に関する市町村との連携

◇ 京都府と市町村が役割分担・連携し、警戒避難体制の強化を図る。

京都府

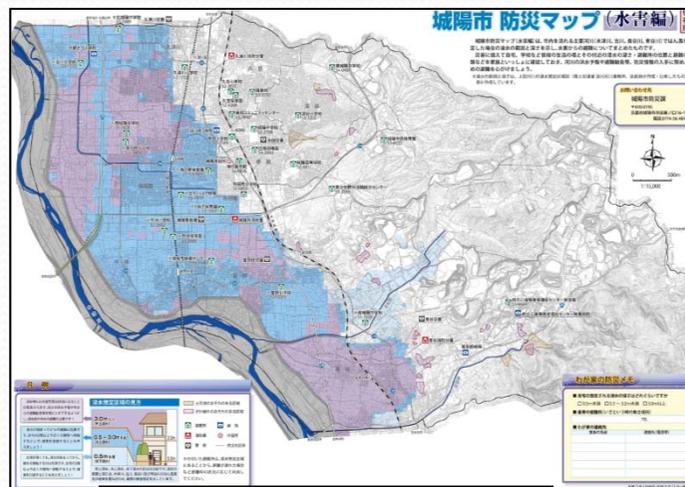
大雨や洪水時に、水防活動支援のための河川水位情報の発表や、住民避難のための土砂災害警戒情報を京都地方気象台と共同して発表している。洪水予報の精度向上、水防警報河川等の追加指定を進める。

市町村

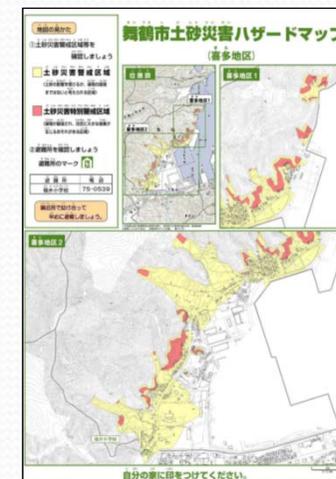
浸水想定区域図や土砂災害警戒区域等をもとに避難に必要な情報を記載したハザードマップを作成し、住民に配布している。河川水位情報、土砂災害警戒情報を受け、避難勧告等の情報を住民に発表している。

水位情報の発信(H29.3.31現在)

種別	指定数
洪水予報	4河川
水位周知河川	30河川
水防警報河川	62河川



洪水ハザードマップ(城陽市資料)



土砂災害ハザードマップ(舞鶴市資料)